

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【公開番号】特開2013-242177(P2013-242177A)  
 【公開日】平成25年12月5日 (2013.12.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-065  
 【出願番号】特願2012-114336(P2012-114336)  
 【国際特許分類】

G 0 1 J 3/26 (2006.01)

G 0 1 J 3/36 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 J 3/26

G 0 1 J 3/36

【手続補正書】  
 【提出日】平成27年4月13日 (2015.4.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

キャビティ層並びに前記キャビティ層を介して対向する第 1 及び第 2 のミラー層を有し、  
前記第 1 のミラー層側から前記第 2 のミラー層側に入射位置に応じて決定された波長の光を透過させる干渉フィルタ部と、

前記干渉フィルタ部を透過した光が入射する受光面を有し、前記受光面に入射した光を検出する光検出基板と、を備え、

前記干渉フィルタ部は、

前記受光面と交差する所定の方向から見た場合に、前記受光面に対応する第 1 のフィルタ領域と、

前記所定の方向から見た場合に、前記第 1 のフィルタ領域を包囲する環状の第 2 のフィルタ領域と、を有し、

前記光検出基板が有する配線のパッド部は、前記所定の方向から見た場合に前記第 2 のフィルタ領域に含まれるように複数設けられており、

前記第 2 のフィルタ領域には、前記パッド部を外部に露出させるための貫通孔が形成されており、

前記パッド部のそれぞれには、前記貫通孔を介してワイヤが接続されている、分光センサ。

【請求項 2】

前記貫通孔は、前記パッド部ごとに複数形成されている、請求項 1 記載の分光センサ。

【請求項 3】

前記第 1 のフィルタ領域においては、前記第 1 のミラー層と前記第 2 のミラー層との間の前記所定の方向における距離が変化しており、

前記第 2 のフィルタ領域においては、前記第 1 のミラー層と前記第 2 のミラー層との間の前記所定の方向における距離が一定となっている、請求項 1 又は 2 記載の分光センサ。

【請求項 4】

少なくとも前記第 2 のフィルタ領域に入射する光を透過させる光学フィルタ部を更に備え、

前記光学フィルタ部を透過する光の波長範囲と、前記第 2 のフィルタ領域を透過する光の波長範囲とは、互いに異なっている、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載の分光センサ。

【請求項 5】

前記第 1 のフィルタ領域における前記キャビティ層と、前記第 2 のフィルタ領域における前記キャビティ層とは、連続して形成されている、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項記載の分光センサ。

【請求項 6】

前記第 1 のフィルタ領域における前記第 1 のミラー層と、前記第 2 のフィルタ領域における前記第 1 のミラー層とは、連続して形成されており、

前記第 1 のフィルタ領域における前記第 2 のミラー層と、前記第 2 のフィルタ領域における前記第 2 のミラー層とは、連続して形成されている、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項記載の分光センサ。

【請求項 7】

前記第 2 のフィルタ領域は、前記受光面に平行な方向から見た場合に、前記第 1 のフィルタ領域を含んでいる、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載の分光センサ。

【請求項 8】

前記所定の方向は、前記受光面に垂直な方向である、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項記載の分光センサ。